

Ⅶ その他 2 人事に関する計画

中 期 計 画	年 度 計 画	実 績
(1) 教育研究の充実を図るため、戦略的な教員配置を推進する。 (2) 教育研究の持続ある発展を図るため、優れた人材を確保する方策を実施する。 (3) 教職員の資質向上を図るため、研修をより充実する。 (4) 教職員の活動意欲の向上を図るため、職員の適正な人事評価を行い、給与等の処遇に反映する。	(1) 総人件費を抑制しつつ、教育研究及びその他の業務を更に充実するため、戦略的な人員配置を推進する。 (2) 女性教職員支援計画を順次実行する。また、同計画の充実を図る。 (3) 学内の研修プログラムの充実を図りつつ、計画的に研修を実施する。また、海外の教育・研究機関に引き続き2名程度を派遣する。 (4) 教職員の活動意欲の向上を図るため、人事評価の改善を図りつつ適正に実施し、給与等の処遇に反映する。 (参考1) 平成24年度の常勤職員数464人 また、任期付き職員数の見込みを42人とする。 (参考2) 平成24年度の人件費総額見込み 4,710百万円（退職手当は除く）	(1) 平成22年度から実施している教員再配置計画を順次進めている。また、教育研究組織ごとの教職員の配置、人件費予算等の配分について、人事委員会において検証した。また、大学改革の推進、大学の機能強化、研究戦略の企画・立案、提案及び研究の質保証施策の推進等を目的とし、学長裁量ポストを利用し、研究推進本部に新たに教授1名を配置したほか、10名の特任教員（うち、5名は平成24年度からの新規雇用）及び、2名の特任専門職を配置した。また、第2期中期目標期間中の人件費試算を引き続き精緻に行った。 (2) 平成23年3月に女性教職員支援計画として人事委員会決定された「男女共同参画に向けた取組み」を順次実行した。それに加え、女性教員への研究活動の更なる支援のため、平成24年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に申請し選定された。 その事業の核となるK I T男女共同参画推進センターを10月に設置し、11月には、事業内容の充実等を図るためセンターにコーディネータを1名採用した。 出産・育児・介護等により教育研究活動に支障を来し、支援を必要とする教員を対象として必要なサポートが行えるよう、研究支援員として、大学院生等を計34名雇用した。 また、女性教職員及び女子学生の交流の場としてK I T男女共同参画推進センター内に「K I T女性サロン」を設置した。 (3) 学内研修として、新規採用職員研修等の職階別研修のほか、パソコン研修を実施した。また、国立大学協会等が実施する研修に参加した。更に、海外の教育・研究機関等に3名の若手教員を派遣した。 (4) 平成24年度の勤勉手当（6月期・12月期）及び平成25年1月1日昇給において、評価実施要領に基づき評価を実施し、成績率及び昇給区分に反映した。また、平成24年4月に、新たに評価者となった者を対象として評価者研修を実施した。また、新たに採用された教職員に対し、評価制度の説明を実施した。勤勉手当支給後及び昇給実施後には教職員からの意見を募集し、寄せられた意見を踏まえ、次年度の評価実施要領を策定した。 (実績1) 平成24年度の常勤職員数 438人 うち任期付き職員数 40人 (実績2) 平成24年度の人件費総額 4,307百万円（退職手当は除く）